

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

事業名	①事業概要 ②交付対象者	事業始期	事業終期	事業費(円)	うち交付金 (円)	事業実績	効果(成果)
防災活動支援事業	①指定避難や避難場所での新型コロナウイルス感染症対策のため必要な物品を配備する。 ②地域内指定避難所(8か所) 山江村体育館、山江村農村環境改善センター、山江中学校武道館、山江中学校体育館、山田小学校体育館、第9区公民館、山江温泉ほたる、山江老人保健施設	R2.5	R3.3	10,013,384	9,707,424	除菌スプレー、手指消毒液、無線LANルータ、大型扇風機、非接触型温度計、避難所用間仕切りパネル、スタンド付き消毒液オートディスペンサー、飛沫パーテーションスタンド、避難所用敷マット、体温検知システム、避難生活用テントなどの避難所用物品の購入 避難所施設の修繕	避難場所の感染対策物品の設置等を行うことで、新型コロナウイルス感染症への感染リスクを低減させ、避難者が安心して避難所へ避難できる環境を整備することができた
農林業経営安定化支援金事業	①農林業経営者の経営継続を支援 ②農林業経営安定化支援金を交付する経費に充当	R2.6	R3.3	1,066,000	1,066,000	6件の農林業経営者に対し上限額を30万円として合計1,066,000円の支援金を交付した	新型コロナウイルス感染症による影響で売上げが減少した農林業経営者に支援金を交付することで、事業を安定的に持続できるよう支援することができた
感染症対策記載台購入事業	①役場窓口での感染拡大防止のため、住民等の届出等記載専用の間仕切り付き記載台1台を設置する ②記載台新規購入に伴う備品購入費に充当	R2.7	R2.10	100,000	100,000	住民票等の届出等記入用の間仕切り付き記載台の購入	間仕切り付きの記載台を設置することで新型コロナウイルス感染症への感染リスクを低減させ、住民が各種届出等を安心して行える環境を整備することができた
福祉及び衛生関連施設等の安心安全環境整備事業	①事業所等の感染防止対策 ②感染症対策必需物品供給事業交付金に充当	R2.4	R3.3	1,896,000	1,896,000	新型コロナウイルス感染症の感染防止を図るため、必要な対策を実施した村内の事業者7者に対し補助金を交付した	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に必要な物品を導入、設置したことで感染リスクを低減させ、福祉及び衛生関連施設等のサービスを継続して提供することができた
安心安全な公共空間確保事業	①感染症発生時の消毒作業等に関する物品等を備蓄 ②防護服セット80着、手袋10箱、アイガード10セット、クリアパーテーション10枚、消毒用噴霧器4台等の購入経費に充当	R2.6	R3.2	457,548	457,548	防護服、ゴーグル、ゴム手袋、アイガード、クリアパーテーション、手指消毒用足踏み式スタンド、ウェットティッシュ、消毒用噴霧器の購入	消毒作業用の物品を購入し、新型コロナウイルス感染症発生時の消毒作業を迅速に行えるよう整備することができた
水道使用料等支援事業 (簡易水道事業会計への繰出含む)	①一般世帯(事業所含む)の簡易水道使用料(公営企業会計)を減免 簡易水道の区域外にあたる地域水道の維持管理費の一部を補助 ②簡易水道事業(公営企業会計)に一般会計から繰り出し、一般世帯及び事業所等の水道使用料減免に関する費用に充当 簡易水道事業の区域外にあたる地域水道に対しては、維持管理費の支援として1世帯当り同額を村一般会計から補助	R2.7	R2.12	7,548,000	7,548,000	村内の水道加入者の7月から12月検針分水道料金から月1,000円×6か月を減免した。 簡易水道事業の区域外で地域水道を使用している世帯に対し月1,000円×6か月を支援した	水道使用料に関する支援を行うことで、コロナ禍で影響を受けた家計や経営を支援することができた
中小企業等事業継続支援金	①事業所等の事業継続を支援 ②村が行う事業継続支援金事業の経費に充当	R2.5	R3.3	10,289,000	10,289,000	上限を30万円として36事業者に対して事業を継続するための資金を支援した	コロナ禍の影響で売上げが減少した村内の事業者に支援金を交付することで、事業を継続するための支援ができた
プレミアム商品券発行事業	①プレミアム付商品券を発行し、地域住民の消費喚起と村内事業所の経済活性化対策支援を図る ②プレミアム率30%の経費に充当	R2.5	R3.3	5,980,154	5,980,154	1冊10,000円の商品券(1,000円×13枚綴り)を2,000冊発行した	村内でプレミアム商品券が使用されることで地域内での消費喚起を促し、コロナ禍で疲弊した地域経済を活性化することができた
オンライン学習環境整備事業 (ケーブルテレビインターネット使用料の支援)	①学校の臨時休校時の在宅学習環境を維持することに要する経費を支援するため、村内小中学校児童生徒を持つ、既ケーブルテレビインターネット契約世帯及び新規ケーブルテレビインターネット利用開始世帯のケーブルテレビインターネット使用料の一部を支援する ②ケーブルテレビインターネット使用料一部を支援するため、一般会計からケーブルテレビ特別会計へ繰り出しをおこない、ケーブルテレビセンター内機器の維持管理費に充当する	R2.5	R3.3	1,824,000	1,824,000	小中学生を持つ世帯のケーブルテレビインターネット使用料の5月～3月の11か月の期間を月1,500円減免した	ケーブルテレビのインターネット使用料を減免することで、インターネット未加入世帯のインターネット加入を促し、コロナ禍での学校の臨時休校時でもオンラインを活用した在宅で学習ができる環境を整えることができた
在宅勤務導入支援事業	①役場内での感染リスクを軽減し、来庁する地域住民への行政サービス低下が起こらないよう、在宅勤務体制の環境整備を行う ②在宅勤務用PC調達・設定等に関する経費に充当	R2.5	R2.9	1,870,000	1,870,000	在宅勤務用のPC20台の購入	在宅勤務用PCを導入により、新型コロナウイルス感染症の感染拡大時等に在宅で勤務が可能となり、役場内での感染リスクを軽減し、行政サービスを継続することができた
未来の担い手応援事業	①大学生、専門学校生への物資支援 ②村外就学中の学生へ食料品等を支援する経費に充当	R2.6	R2.10	272,598	272,598	大学生や専門学校生30名に食料品等の支援を行った	コロナ禍において、村外で就学中の大学生や専門学校生に食料品等を送付することで外出機会を減らし新型コロナウイルス感染リスクを軽減することができた

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

事業名	①事業概要 ②交付対象者	事業始期	事業終期	事業費(円)	うち交付金(円)	事業実績	効果(成果)
遠隔・オンライン学習の環境整備事業(学習用ヘッドセットの購入支援)	①学校の臨時休校時の学習環境の提供 ②オンライン授業等に要するヘッドセット購入の経費に充当	R2.6	R2.8	605,220	605,220	オンライン学習用ヘッドセット262台の購入	ヘッドセットを購入することで、コロナ禍での学校の臨時休校時でもオンラインを活用した在宅で学習ができる環境を整えることができた
安心安全な学び空間確保事業	①村内各学校へ消毒液を配布 ②村内小中学校の感染予防対策物品購入に関わる経費に充当	R2.6	R3.1	1,153,680	1,153,680	各学校へ配布する消毒液の購入	消毒液を各学校へ配布することで、新型コロナ感染予防対策を実施し安心して学習できる環境を確保することができた
臨時休校対策食費支援事業	①本村では子育て支援として村内小中学校の給食費を無料化しており、学校の臨時休校に伴い、自宅での児童生徒の食費を支援する ②児童・生徒の在宅により生じた食糧費の支援経費に充当	R2.6	R2.10	3,560,000	3,560,000	臨時休校時の児童生徒の食費として356名×10,000円の支援を行った	臨時休校時の児童生徒の食費を支援することで、コロナ禍において増加する家計を支援することができた
在宅勤務導入支援事業(教職員テレワーク用パソコンの購入支援)	①学校の臨時休校時の教職員テレワーク環境の提供 ②在宅勤務用PC調達・設定等に関わる経費に充当	R2.6	R2.7	2,288,000	2,288,000	教職員の在宅勤務用PC15台の購入	教職員の在宅勤務用PCを導入することで、コロナ禍で臨時休校となった場合に在宅で勤務ができる環境を整えることができた
山江村公共的空間安全・安心確保事業	①役場庁舎内の感染症予防を行うことで、安心・安全な空間の確保を行う ②役場庁舎の衛生環境確保のためにかかる経費を充当	R2.11	R3.3	7,943,100	7,943,100	電話機システムの整備 電源設備の改修 空気清浄機18台、エアコン1台の購入	電話機を増設し電話機1台当たりの接触者数を減らすことで感染リスクを低減した。浮遊するウイルスを除去できるような空気清浄機を各部屋に設置した。エアコンを設置し執務室として使用できる部屋を増やし、感染リスクを低減した。空気清浄機等の配備により増加する使用電力に対応するため電源設備の工事を行い、新型コロナ感染予防対策に対応できる環境を確保することができた
地域の魅力発信によるリモート関係人口拡大事業	①新型コロナウイルスの影響により、観光人口の減少が著しいことから、ドローンによる地域内観光情報映像を動画として配信し、リモート関係人口の拡大を図り経済対策に寄与する。また、災害等が発生した場合の現地調査等において、調査の少人数化・省力化を可能とし、感染リスクの軽減を図る。 ②撮影機能付きドローンの購入経費に充当	R2.12	R2.12	873,300	437,300	撮影機能付きドローン8機の購入	撮影機能付きドローンの導入により、災害発生時等に現地調査をする際に現地向けに人数を減らし感染リスクを低減させる環境を整備することができた。また、コロナ終息後の観光客誘致やリモート関係人口の拡大に向けて観光情報映像を発信できる環境を整えることができた
農道維持管理業務(除草・伐採)	①新型コロナウイルス感染拡大防止に係る外出自粛に伴い未整備となった農道が増加しているため、地域内の農業振興を推進することを目的とし、行政が農業インフラ(農道等)の環境整備を行う ②未整備の農道の除草及び支障木の伐採業務を行うための委託料に充当	R3.3	R3.3	1,782,430	1,782,430	農道等の除草・支障木伐採	外出自粛の影響により地域による除草作業等ができていない農道等の除草等を行うことで、コロナ禍においても農業振興を推進することができた
学校施設空間除菌対策事業	①学校内の各教室におけるクラスター発生防止のため、村内小中学校の普通教室及び特別教室に空気清浄機を設置 ②村内小中学校の感染予防対策のための物品購入に関わる経費に充当	R2.10	R3.1	2,893,440	2,893,440	空気清浄機48台を購入し各学校へ配備した	各学校の教室へ浮遊するウイルスを除去できる空気清浄機を配備することで、安心して学習できる環境を整備することができた
オンライン授業システム整備事業	①学校の臨時休校時の学習環境の整備 ②オンライン学習等に要するWebシステム整備に関わる経費に充当	R2.10	R3.1	286,000	286,000	ZOOMのライセンス 20ライセンス×12か月	コロナ禍において、臨時休校時にオンライン学習ができる環境を整備することができた
山江村公共施設感染予防対策事業	①役場庁舎を含む公共施設及び教育施設に体温検知システムを設置し感染機会の削減を図る。また、図書館における感染予防に対応した施設利用のため、図書を殺菌できる機材を導入し、図書館利用の増加を図る。 ②公共施設及び教育施設施設へ体温検知システムを導入設置する経費及び図書消毒機の購入費用充当	R2.10	R3.3	2,467,500	2,004,500	図書用除菌BOX1台、スタンド式体温検知システム10台を購入し各施設に配備した	スタンド式体温検知システムを施設各所に配備することで、施設入場者の健康状態を把握でき、安心して利用できる施設の環境を確保することができた。図書用除菌BOXにより、返却された貸出図書の除菌をすることで、感染リスクを軽減することができた
学校施設における避難所機能強化事業	①学校教育施設(体育館等)が指定避難所となっていることから空調設備の整備し、3密を避けた安全な避難生活空間を確保する ②避難所における感染予防対策として、公共施設に分散して避難可能とするため、学校施設(体育館等2箇所)の空調設備整備に関わる経費に充当	R2.10	R3.2	27,215,498	27,215,498	指定避難所に指定してある2校の学校施設の体育館へ空調設備を整備した	体育館に空調設備を整備したことで、コロナ禍において避難が必要となった際に、空間が広く3密を回避でき安全な避難生活空間を確保することができた

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

事業名	①事業概要 ②交付対象者	事業始期	事業終期	事業費(円)	うち交付金(円)	事業実績	効果(成果)
山江村内小学校情報機器整備費補助金	①村内小中学校の児童生徒が使用するPC端末の整備 ②GIGAスクール構想関連事業等との連携による児童生徒が学校で使うタブレット端末整備(1人1台)に係る経費に充当	R2.10	R2.11	18,579,770	14,619,770	授業で使用するタブレットPC131台の購入	授業で使用するタブレットPCを整備することで、普段の授業からタブレットPCに触れ操作に慣れることで、臨時休校等でオンライン学習となった場合も学習機会を確保できる
やま暮らし応援券発行事業	①新型コロナウイルスの影響により衰退した地域内経済を活性化するため、地域振興券を発行し、地域住民の消費喚起と村内事業所の売上増加を図る ②地域振興券発行経費に充当 ・価格は1冊1万円(500円×20枚綴り、全村民へ配布)	R3.4	R3.11	35,044,710	33,989,200	1冊10,000円(500円×20枚綴り)の地域振興券を全住民へ配布した	村内で地域振興券が使用されることで地域内での消費喚起を促し、コロナ禍で疲弊した地域経済を活性化することができた
オンライン会議・面接環境整備事業	①役場庁舎内の感染リスクを軽減し、地域住民に対する行政サービス低下を防ぐため、狭い会議室に人員を集めて行う会議やウイルスの蔓延が報告された地域に向くことなく会議に参加できる環境を整備する ②オンライン会議用PC購入、接続工事に係る経費に充当	R2.11	R3.2	1,195,150	1,195,150	オンライン会議用PC5台、USBマイク5個の購入 会議室へのLAN配線工事	オンライン会議等で利用できる環境を整備したことで、会議にオンラインで参加や開催できるようになり、感染リスクを低減することができた
ウェルカムやまキャンペーン事業	①村内に住所のある、又は村内で事業を営んでいる宿泊・飲食業の経済対策を図るため、利用者に対し経費の一部を支援する ②宿泊、宴会、食事をされた費用の一部助成に充当し、一人当たり1万円以上利用者に5千円、2千円以上利用者に1千円、千円以上の利用者に500円支援	R3.4	R4.3	10,171,000	10,171,000	本村に関係する店舗で、宿泊や飲食に利用できるクーポン券を発行した	クーポン券の利用により、新型コロナウイルス感染症の影響で売り上げの減少が懸念された、飲食・宿泊業の利用客増加に寄与し、地域経済の活性化を図ることができた
雇用継続申請費用支援事業	①村内に住所のある、又は村内で事業を営んでいる事業所が雇用の維持を図るため、国の雇用調整助成金等を申請する際に社会保険労務士等に依頼する場合に支払う手数料の半額を支援 ②村内事業者が社会保険労務士等へ事務を依頼した場合の事務手数料に対し一部を支援するための補助金に充当 1事業所当たり上限10万円、上限に満たない場合は複数回申請可	R2.10	R3.3	71,000	71,000	国の雇用調整助成金等を申請する際の事務手数料の半額を補助した	新型コロナウイルス感染症の影響により売り上げが減少した事業者を支援することができた
中小企業等事業継続支援事業(拡充)	①事業所等の事業継続を支援の拡充 ②村が行う事業継続支援事業の拡充経費に充当	R2.5	R3.3	5,212,000	5,212,000	上限を20万円として30事業者に対して事業を継続するための資金を支援した	コロナ禍の影響で売り上げが減少した村内の事業者に支援金を給付することで、事業を継続するための支援ができた
中小企業等事業家賃支援事業	①事業所等の事業継続のための事業所、倉庫、敷地に係る家賃等の一部を支援 ②事業継続家賃支援事業の経費に充当	R2.10	R3.3	882,000	882,000	上限を20万円として6事業者に対して事業所の建物や土地に係る家賃を支援した	コロナ禍の影響で売り上げが減少した村内の事業者の事業所に係る家賃等を助成することで、事業を継続するための支援ができた
公共施設等の管理維持体制持続化事業	①指定避難所でのクラスターを避けるため、受け入れた避難者が密集しないよう部屋数を多く使うことで増加する電力量と、避難者が携帯電話の充電やその他の電化製品を利用することで増加する電力量を考慮し、温泉の経営と避難所の運営を同時に行える安全且つ安定的な電力量を確保することを目的とし、高圧受変電設備の機能強化を図る。 ②高圧受変電設備の変換電力量を増加させ、安定した電力供給を目的とした設備再構築工事請負費に充当	R2.11	R3.3	24,565,798	24,565,798	避難時に増加する電力量を確保するための高圧受変電設備の整備を行った	災害時に避難した避難者が使用する電化製品や感染予防対策で増加する施設の電力を安定的に確保できる環境を整備することができた
中小企業等事業継続支援金	①新型コロナ蔓延による著しく収入が減となった事業所等の事業継続を支援 ②村が行う事業継続支援事業の経費に充当	R2.5	R3.3	12,900,000	12,900,000	前年度から売り上げが大きく減少した12事業者に対して事業を継続するための資金を支援した	コロナ禍の影響で売り上げが大きく減少した村内の事業者に支援金を給付することで、事業を継続するための支援ができた
学び空間環境整備事業	①新型コロナウイルスの蔓延防止のため臨時休校となった村内各学校のグラウンド等について、従来の児童生徒による除草や体育祭や文化祭等イベント前の保護者の協力による除草作業ができず、雑草が伸びスポーツに支障をきたす状態である。今後新型コロナウイルスによる影響が続く可能性もあることから、児童生徒の安全なスポーツ環境を整備する為、少人数で作業効率の高い草刈機を導入し、3密対策をとりながら学び空間の速やかな整備を図る。 ②乗用草刈機の購入費用に充当	R2.10	R2.11	506,000	506,000	乗用草刈機1台の購入	乗用草刈機の導入により、これまで大人で行っていた村内各学校の除草作業が少人数で行えるため、3密を回避し感染リスクを低減しながら安全な学びの空間を整備することができた

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

事業名	①事業概要 ②交付対象者	事業始期	事業終期	事業費(円)	うち交付金 (円)	事業実績	効果(成果)
学校施設衛生環境改善事業	①新型コロナウイルス蔓延防止のため、村内の学校施設内水道の蛇口をセンサー式に交換する ②通常の蛇口からセンサー式に取り換えるための事業費に充当	R2.11	R3.2	5,742,000	5,742,000	各学校の水道蛇口を手動からセンサー式に交換した	コロナ禍において、手洗いにより接触する回数が増える水道蛇口をセンサー式に交換したことで接触による感染リスクを低減することができた
農業・食品産業強化対策事業	①新型コロナの影響で収入源となった球磨人吉のお茶農家の経営安定化を図るため球磨地域農業協同組合が事業主体となりペットボトル用茶葉製造ラインを新設する ②施設の整備経費を管内10自治体が分担して負担する、山江村分負担金に充当	R3.9	R3.9	176,000	176,000	球磨地域農業協同組合が新設するペットボトル用茶葉製造ラインの整備経費を負担した	球磨地域農業協同組合がペットボトル用茶葉製造ラインを整備したことで、お茶生産農家の経営安定化を図ることができた
米産地生産基盤パワーアップ事業	①新型コロナの影響で収入減となった球磨人吉の稲作農家の農作業の省力化を図り経営安定化を実現するため球磨地域農業協同組合が事業主体となって既存ライセンサーに高性能穀類乾燥設備を導入する。 ②施設の整備経費を管内10自治体が分担して負担する、山江村分負担金に充当	R2.11	R3.3	202,000	202,000	球磨地域農業協同組合がライセンサーを導入する高性能穀類乾燥設備の整備経費を負担した	球磨地域農業協同組合が高性能穀類乾燥設備を導入したことで、稲作農家の農作業の省力化による経営安定化を図ることができた
葉たばこ共同乾燥施設機能向上事業	①新型コロナの影響で収入減となった葉たばこ生産農家を支援するため、相良村と山江村の生産農家が共同で利用する乾燥施設の機能を向上させ、作業効率を上げることで経営の安定化を図る ②施設の整備経費を相良村と山江村が分担して負担する、山江村分負担金に充当	R2.4	R2.4	342,000	342,000	相良村の農家と共同で利用する葉たばこ乾燥施設の機能向上経費を負担した	葉たばこ乾燥施設の機能向上により、葉たばこ乾燥の作業効率が上がりました。葉たばこ生産農家の経営安定化を図ることができた
スマート農業推進による経営継続支援事業	①新型コロナウイルスの影響で収入減となった農家に対し、共同利用型農業散布用ドローンの導入により、農作業の省力化及び消毒経費の削減を行ない農業経営を支援 ②農業散布用ドローンの購入費用及びオペレーターの育成費用に充当	R4.2	R4.3	2,461,800	2,461,800	農業散布用ドローン1機の購入 農業散布用ドローンのオペレーターを育成した	農業散布用ドローンの導入により、農作業の省力化及び消毒経費の削減により農業経営者を支援することができた
新型コロナウイルス感染症対策地域公共交通運行継続支援事業	①活動自粛要請により利用が大きく制限され、運行にも大きな影響を受けた3セク鉄道事業者に対し、圏域自治体が支援金を給付し、安定的な事業が維持できるよう支援 ②管内10自治体が分担して行う支援金事業の内、山江村分負担金に充当	R3.2	R3.3	90,000	90,000	第3セクター鉄道事業者（くまがわ鉄道）に支援金を給付した	コロナ禍において、活動自粛や移動制限による利用者減少により運営に大きな影響を受けた第3セクター鉄道事業者（くまがわ鉄道）に支援金を給付し事業継続を支援することができた
子ども・子育て支援交付金	(子ども・子育て支援交付金) ①コロナの影響により村内小学校が休校となったことに伴い、学童クラブ施設の入居経費を補助するもの。 ②子ども・子育て支援事業補助金の山江村負担金に充当	R2.4	R3.3	88,000	30,000	学童クラブ2施設へ補助金を交付した	補助金の交付により、村内小学校の臨時休校で利用者が増加した村内の学童クラブの運営を支援することができた
学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) ①新型コロナウイルス感染予防のため非接触型体温計を村内小学校に導入し感染防止を図る ②非接触型体温計の導入に関わる経費に充当	R2.9	R2.10	108,790	54,790	非接触型体温計23個の購入	非接触型体温計を村内小学校に配布したことにより、村内小学校内の新型コロナウイルス感染防止対策を図ることができた
リモートワーク及び分散業務推進事業	①役場庁舎内にWiFiを設置することで、リモートでの会議・打合せの促進及び庁内各部署を使った分散業務の体制整備。 ②WiFi購入経費に充当	R3.3	R3.3	58,000	58,000	Wifiルーター5台の購入	Wifiルーターの導入によりインターネット環境の無い部屋でもリモート会議・打合せが可能となり、分散して業務を行う環境を整備することができた
基準日以後誕生新生児の特別定額給付金給付事業	①令和2年度に実施された特別定額給付金について、基準日(4/27)の翌日令和2年4月28日以降、令和3年3月31日までに生まれた新生児に対し、1人につき10万円を給付するもの ②給付金の支給に対し充当	R2.4	R3.3	1,700,000	1,700,000	R2/4/27以降に生まれた新生児17人に対し1人10万円の給付金を給付した	コロナ禍において、感染予防対策等で出費が増加する子育て費用を支援することができた
丸岡公園コロナ禍マルシェ事業	①新型コロナウイルスの影響により、祭等のイベント開催が困難なことから、観光人口が低迷し特産品の販売活動にも支障が出ている。3密を避けて風通しの良い屋外で特産品の販売を行うとともに、購入したお客様が安心して休憩できる場所を確保し経済の活性化と関係人口の創出を図るため、オーニングテントと東屋を設置するもの。 ②オーニングテント及び東屋整備に係る経費に充当	R3.4	R3.8	2,376,000	2,376,000	丸岡公園内にある建物にオーニングテント3台の設置、東屋の整備を行った	オーニングテントの設置等により、3密を避けた屋外での販売スペースや休憩所を確保することが可能となり、地域経済の活性化や関係人口の創出を図ることができた。

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

事業名	①事業概要 ②交付対象者	事業始期	事業終期	事業費(円)	うち交付金 (円)	事業実績	効果(成果)
学生等就学支援給付金事業	①コロナ禍で生活が困窮する山江村出身の大学・専修学生への生活費支援、並びに、高校生が通学時の3密を避けるため、公共交通機関を利用せず、自家用車で送迎をされる場合の交通費(燃料代)を支援する。 ②大学生等へ支援金を給付するための経費及び、高校生を持つ家庭へ燃料代を給付するための経費に充当	R3.4	R3.8	1,640,000	1,640,000	43名の大学生・専修学生への生活支援、26名の高校生への通学支援のため給付金を支給した	支援金を支給することで、コロナ禍で生活が困窮した大学生・専修学生の生活費や、高校生の3密を避けた通学を支援することができた
飲食店の新型コロナウイルス蔓延防止対策支援事業	①コロナ禍において、飲食店が安心安全な食事環境を提供することに対し、その経費の一部を補助し負担軽減を図る。また、「コロナ対策実施中」の山江村オリジナル幟や認定プレートを配布し、お客様の安心感獲得をバックアップする。 ②感染予防対策を行なった事業所への補助金に充当、幟、認定プレートの製作費に充当	R3.3	R3.3	314,000	254,000	新型コロナウイルス感染予防対策をとった5件の飲食店に対し、10万円を上限として経費の一部を補助した。 認定プレート等を作成し飲食店へ配布した	認定プレート等のグッズの配布や感染対策の補助金支給により、飲食店の新型コロナウイルス感染予防対策を支援することができた
山江村内小学校情報機器整備費補助金(2次)	①村内小中学校の児童生徒が使用するPC端末の整備 ②GIGAスクール構想関連事業等との連携による児童生徒が学校で使うタブレット端末整備(1人1台)に係る経費に充当	R2.12	R3.3	22,545,600	15,345,600	授業で使用するタブレットPC160台の購入	授業で使用するタブレットPCを整備することで、普段の授業からタブレットPCに触れ操作に慣れることで、臨時休校等でオンライン学習となった場合も学習機会を確保できる
新型コロナウイルス感染症対策飲食業支援事業	①国・県の緊急事態宣言を受け、外出自粛により売り上げの減少が見込まれる飲食店及び、飲食店への客入り売り上げに直結するその他の事業所に対し、従業員数に応じた給付を行ない、事業の継続を支援する。 ②飲食店等への支援金に充当する	R3.2	R3.3	2,750,000	2,750,000	従業員1人につき50,000円(上限50万円)を事業を継続するための資金として11事業者に給付した	コロナ禍の影響で売り上げの大幅減少が懸念される村内の事業者に支援金を給付することで、事業を継続するための支援ができた
公共施設等の管理維持体制持続化事業	①温泉利用者(休憩室)と食事をされる方が同じ広間を使っている状況であり、避難者の受入れも想定に入れ、広間に間仕切りを設置し、飛沫感染のリスクの軽減を図る。 ②飛沫感染防止の間仕切り設置工事の工事請負費に充当	R3.4	R3.8	1,210,000	1,210,000	公衆浴場の大広間へ間仕切りを設置した	間仕切りを設置したことにより、温泉利用者の休憩スペースと飲食スペースを区切ったことで、飛沫感染のリスクを軽減し安心して利用できる空間を確保することができた
合計				243,316,470	229,724,000		